

1．日時：平成 17 年 10 月 12 日（水）10：00～14：40

2．場所：法政大学市ヶ谷キャンパス 80 年館 7 階「中 2」

3．メンバー

・出席 10 名

小生方麻里（麗澤大学） 片岡真裕子（東京農業大学） 川越智之（駒澤大学）
楠山直文（成城大学） 助川敦子（文化女子大学） 関全葵（東京家政学院大学）
高田涼子（国立音楽大学） 土屋貴之（法政大学） 森田敦子（東京国際大学）
新見敏子（中央大学）

4．討議内容（要約）

<チェックシートについて>

グループリーダーより、たたき台の説明と項目などの理由が挙げられ、それについて討議を行った。結果としては、“はい/いいえ”方式案は却下され、“チェックボックス”方式が採用された。それぞれの意見を次に列挙する。

- ・ 設問を読んだ後の眼と手の流れから、スムーズにチェックが入れられるように配慮し、チェックボックスを文末にした。
- ・ チェックボックスが 2 箇所あるのは、1 回だけではなく、改善した後などに再度確認して役立ててもらいたいから。項目に、「1 回目（ 年 月 日）」と追加して、チェックボックスが複数ある理由と目的を認識させる。
- ・ チェックボックスと「解説あり」の表記が近くなったことにより、解説があることが分かり易くなった。
- ・ チェックをした後で解説を読んだ場合、解説によっては認識や解釈が異なる可能性もあるので、「解説あり」ではなく、文末に「*、 、注」などの記号をつけ、解説シートには通し番号（例：1_3）を記載する方が良い。
- ・ 初め付けていた名称「総務編」「閲覧編」は、区분이曖昧なものや整理編などもいくつかあるため、全体を通して通し番号を振り、注記に『1～6 は主に総務向け』のようなコメントを追記する。
- ・ 設問が、チェック＝管理が出来ているという訳ではないため、解説で補足説明をする必要がある。
- ・ 文面の統一の見直しが必要。
- ・ プライバシーとの区別もする必要があり、また、法的根拠（～法第 条など）も記載する必要がある。
- ・ ホームページ上でも PDF などの形式で公開する。
- ・ 解説シートだけ見ても、設問内容がわかるように項目名（キーワード）を記載する。

- ・ 総務部分の「大学としての個人情報保護方針を～」の設問では、大学が図書館も含めて個人情報保護方針を打ち出していれば、図書館独自で収集した情報も含まれると解釈する旨を、注記に加える。必ずしも図書館内だけで解決するのではなく、構内全体的に取り組んでいけば良いと解釈する。

<論文のアウトラインについて>

- ・ リスクマネジメント・グループの活動内容に、大学図書館に特化したリスク事例の洗い出しを記載する。それぞれの対応策は、メンバー校の一例などを紹介する。それに向けて、以前作成した「事例リスト」をもう一度見直し、文章化するなど手を加える。

5. 今後の作業

- ・ 報告大会用のパワーポイントたたき台は、土屋が担当。
- ・ 「事例リスト」の見直しと修正は、新見と川越が担当。
- ・ 閲覧部分を中心とした文面の統一は、主に高田と閲覧編・整理編をまとめたメンバーが担当。

以上